

令和6年度事業計画書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

特定非営利活動法人ネパール治水砂防技術交流会

1 事業実施の方針

1993年に始まるネパール治水砂防交流会の活動では、まず、1991年に開始されたJICA治水砂防関係技術協力プロジェクトへの資金的・技術的支援を行い、また、山間地の初等学校などを対象にした雨量計寄贈・計測等による警戒避難など防災啓発の推進や、技術開発モデルサイトの追跡調査、激甚災害時の緊急調査などを実施してきた。2019年度～2023年度には、連邦政府制に移行し治水砂防局が解体されたのに伴い、散逸が懸念された上記技術協力プロジェクトやネパール政府治水砂防局の活動で残された各種保管資料の電子化を行った。そして、それらのデータを、ネパール・日本で共有し今後のネパール治水砂防の調査研究の基礎資料として永久保存した。また、国立トリプバン大学での砂防関係人材育成と就職状況などを調査し、人材育成が進んでいることを確認した。

16年にわたる日本の技術協力、30年にわたる当会の活動の間に、ネパールでは豪雨や地震、温暖化に伴う環境変化で度々激甚な水・土砂災害が起こってきたが、災害応急対応や情報伝達、政府の防災体制拡充・地域での住民レベルでの防災取り組みなどが進んだ点も見逃せない。そこで、今年度の事業として、過去のJICA治水砂防技術協力や減災推進に深く関わられた元ネパール政府や大学等の関係者と当会会員による座談会を開催し、また、協力当時のネパール国情に合った技術開発試験施工を行った箇所の現地視察を行い、それらから、これまでの協力の成果とその活用、今後のネパールでの治水砂防行政や技術の進むべき方向を検討する。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	事業費見込額(千円)
ネパール治水砂防協力のレビューと今後の活用についての調査	座談会・現地視察会	11月	ネパール国内	6名(予定)	日・ネ砂防関係者等	1,550